

【ロータリー財団月間】

本日は、中野会長が仕事の都合(山口県 LP ガス協会 会長)で東京ご出張の為、私が会長代理として挨拶をさせていただきます事をご了承頂きます様お願い申し上げます。

さて、今月は「ロータリー財団 月間」での、最終例会となりますので、財団関連の話させていただきます。

先週もお話しがございましたが、ロータリー財団の正式名称は、国際ロータリーのロータリー財団です。

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解・親善・平和を達成できるようにすることです。財団への支援を通じて、ロータリアンは、人々の生活向上に貢献する力を得ることができるのです。

<財団への寄付>

クラブの会員は、次の各基金への寄付を通じてロータリー財団を財政的に支援することが出来ます。

- ◇年次プログラム基金（毎年あなたも 100 \$ を）
- ◇恒久基金
- ◇使途指定寄付（ポリオ・プラス基金など）
- ◇その他（冠名奨学金・冠名基金など）

<未来の夢計画>

ロータリー財団が 2017 年に創立 100 周年を迎える事を踏まえ、管理委員会は、財団が奉仕の第二世紀に移行するための計画を立てています。

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済する事を通じて、世界理解・親善・平和を達成できるようにする事です。

そして、「世界でよいことをしよう」という新しい標語は、財団管理委員会と RI 理事会、ならびに規定審議会によって承認されました。

なお、未来の夢計画は次の事を目標としております。

- ◇財団の使命に沿って、プログラムと運営を簡素化すること。
- ◇ロータリアンにとって関連性のある世界の優先的にニーズに取り組むことによって、最大の成果が期待できるロータリアンの奉仕活動に焦点を絞ること。

- ◇世界的目標と地元の目標の両方を果たすためのプログラムを提供すること。
- ◇意思決定をさらに地区に移行することによって、地区レベルとクラブレベルで、ロータリー財団が自分たちのものであるという自覚を高めること。
- ◇ロータリー財団の活動に対する理解を深め、ロータリーの公共イメージを高めること。

その他、健康管理・災害・飢餓・ロータリーのイメージ・会員増強など 18 項目に触れ、新世代におけるロータリーの奉仕の青写真を形成するものになっております。

時代の流れとともに、変わっていくクラブや地区のニーズを学び今後も対応していかなければなりません。当クラブに於いても、ロータリー財団の意義・主旨を、会員全員で、もう一度お考え頂き、地域の人道的ニーズに取り組みたいと思っておりますので、今後共、温かいご理解・ご協力をお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。

…有難う御座います！本日もロータリライフをお楽しみ下さい…